長崎市立桜馬場中学校　学校教育目標　国際社会に生きるよき日本人の育成

桜中だより No.20

令和８年１０月９日
校長　廣瀬　忠義

諏訪神社の秋季大祭である長崎くんちが本日で幕を閉じます。本校からも、踊り町のメンバーとして出演する生徒が活躍を見せてくれました。約３９０年にわたって行われてきた長崎の伝統ある行事。地域の一員としての役割をしっかりと果たしてくれています。また、多くの生徒の皆さんも「おくんち」を見ながら、改めてふるさとの良さを発見したのではないでしょうか？

今年度前半が終わりました

本日、前期通知表を配付しております。学習面や生活面など、生徒の様子等をお伝えするものになりますので、ご家庭でもご確認していただき、家族の話題の一つにしていただきたいと思います。

今年度も、５月の大運動会にはじまり、これまで、生徒たちの素晴らしい活躍があっています。「獅櫻奮迅（しおうふんじん）～With one heart」をテーマとして、さわやかな晴天の下で開催された大運動会。大運動会の成功に向けて取り組んできた実行委員の皆さん、各係の皆さん、各群のリーダーの皆さんの姿がありました。閉会式まで、凛とした態度を見せていたところは大変立派でした。

６月の市中総体。各競技で選手たちは全力を尽くし、精一杯のプレーを見せてくれました。３日目は、バスケットボール競技（ハピネスアリーナ）、バレーボール競技（市民体育館）での全校応援。好ゲームが行われる中、各に分かれて一生懸命に応援する姿がありました。
歓声が会場内に響き渡りました。

７月。「長崎っ子の心を見つめる週間」で様々なことを学びました。メディア利用に関する講話、被爆体験講話、各学年での平和学習発表会などなど。学んだこと、感じ取ったことなどを折に触れ思い起こしていきたいものです。

夏休みも桜中生徒の活躍がありました。県中総体・九州大会に出場した選手たちが、よりレベルの高い大会に挑みました。また、８月にはオーケストラ部が定期演奏会で素晴らしい演奏を披露しました。地域行事でも、７月に行われた伊良林校区まつりで和太鼓部が演奏したり、生徒会役員などが放送や出店で一生懸命に役割を果たしたりしました。

そして、９月の合唱コンクール。「聴いている人も、歌っている自分自身も感動する合唱」で、観衆に感動を与えました。まとまりを大切にしながら、一生懸命に練習に取り組んだ成果をしっかりと出してくれました。お越しいただいた皆様からも、多くのお褒めの言葉、賞賛の言葉をいただきました。

前号でも紹介しましたが、市中総体駅伝競走大会の走りも見事でした。一生懸命に努力してきたことは結果に表れることを証明してくれたと思います。一人ひとりの必死に走る姿がとても印象に残りました。

年度の後半は、さらなる向上を目指す時期となります。３年生は、進路選択という人生の大きな節目を経験します。将来のことを思い浮かべながら、卒業後、どのような進路を選択するのかを真剣に考えていることと思います。受験勉強にも熱が入っていることでしょう。２年生は修学旅行を控え、どのような振る舞いが求められるかを意識することも多くなっていると思います。３年生から素晴らしい伝統を引き継ぎ、行事等でも中心となって活躍してほしいと思います。そして、１年生は合唱コンクールで見せてくれた必死さや積極性などをさらに発揮してほしいと期待しています。来週からまた、生徒たちの充実した取組を目にするのがとても楽しみです。